

第5回安曇野市環境審議会 会議概要

1	会議名	第5回安曇野市環境審議会
2	日時	平成31年(2019年)3月14日(木)午後2時00分から午後4時14分まで
3	会場	本庁舎 大会議室 西
4	出席者	環境審議会 浅川行雄 会長、植松晃岳 副会長、佐々木俊之 委員 樋口嘉一 委員、藤澤昇 委員、横田耕太郎 委員、口村孝 委員 二條久男 委員、酒井文雄 委員、北野聡 委員、森重昭孝 委員 岡江正 委員、江澤二郎 委員、降旗幸子 委員、井上和行 委員 小池晃 委員、堀井三郎 委員
5	市側出席者	安曇野市 市民生活部 環境課 久保田課長、環境保全担当 百瀬係長 環境政策係 土屋主査、平沢主査、斉藤主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	2名
8	会議概要作成年月日	平成31年(2019年)3月19日

協 議 事 項 等

【進行表】

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告事項
  - (1) 環境基本計画 平成30年度 年次報告書について
  - (2) 環境基本計画 平成31年次 実施計画書について
  - (3) その他
4. その他
5. 閉会

【議事】

報告事項(1) 環境基本計画 平成30年度 年次報告書について

<環境課環境政策係から説明>

<質疑>

(委員) エコアクション21の中で、この目標管理シートがどのように扱われているか。例えば、更新審査の際に監査人が確認しているのか。

(環境課) 環境活動レポートの中で、環境基本計画、行動計画、実施計画に基づき実施し、PDCAシートを用いて進捗管理していることを紹介しています。詳細についてはワーキンググループ内でご説明します。

(委員) No. 16の取り組みについて、無人ヘリで25haに薬剤散布し、1,058本の松枯れを処理したとの記述があるが、散布した薬の種類は何か。効果があると考えてよいのか。また、ミツバチなどの虫に対しどのような影響があるのか。

(会長) 薬については、ネオニコチノイド系ときく。具体名は把握していない。

(事務局) 担当に照会し、間に合えば会議時間内に、間に合わなければ後日回答します。

報告事項（２）環境基本計画 平成31年次 実施計画書について

<環境課環境政策係から説明>

<質疑> 特になし

《各ワーキンググループでの審議》

<報告>

**【グループA】**

(No. 1)

- ・評価は達成状況と同一。
- ・目標①について、100人超の需要があったため、5回に増やしたとの記述をすべき。
- ・目標②について、オオルリシジミの現状をPRするとよい。

(No. 2)

- ・評価は達成状況と同一。
- ・目標②の情報提供数増に向け、小中学校へのチラシ配布、地区の活動との連携、マンネリ化の解消をしてはどうか。

(No. 13)

- ・目標②については、数値目標の設定に無理がないか検証・精査をすべき。
- ・目標①の市民グループへの支援については、他のグループとの連携を検討してはどうか。

(No. 14)

- ・数値目標が適正か精査すべき。また、取り組み内容も具体性に欠ける。

(No. 15)

- ・目標③の数値目標である“延べ100人以上”に対する結果を記載するべき。また、目標②の課題である運営母体の確立について具体的な記述をお願いしたい。

(No. 16)

- ・数値が低い方が良いという、数値目標の設定の仕方がわかりにくい。計画の立て方を再考すべき。

(No. 21)

- ・実施内容の記述が具体性に欠ける。実施結果の把握が6月になるのであれば、前年度の実績で評価すべき。

(No. 25)

- ・目標②について、水利権の問題などを記述し、原因がわかるようにすべき。

(No. 26)

- ・広報について、工務店やメーカーと連携した周知を検討してはどうか。また、使用者に取材しPRにつなげてはどうか。

**【グループB】**

(No. 3)

- ・目標②の評価をAに変更する。なお、行政の頑張りを評価するのか、実際の効果で評価するかによって評価が変わってしまうので、数値目標の立て方を検討してほしい。

(No. 4)

- ・目標②の評価をAに変更する。No. 3同様、評価がしやすい文言を心がけていただきたい。
- ・目標①については、アンケートを有効活用しての情報発信と、空き家バンクの関係で政策経営課などと協力し、問い合わせに十分対応できるだけの体制を構築してほしい。

(No. 17)

- ・次年度の数値目標が本年度実績を下回っているため、担当課と協議してほしい。

(No. 18)

- ・荒廃農地面積など、減った方がよい数値目標は一般の方にはわかりにくい。取り組み前の全体面積を入れるなどして、わかりやすい表記を心がけてもらいたい。

(No. 20)

- ・各校で栄養教諭による取り組みがなされているはずなので、取り組む学校のカウント方法を担当課とつめていただきたい。
- ・農業だけでなく、保健所の衛生管理や健康管理とタイアップして実施すると、総合的な話をきけてよいのではないか。

(No. 23) 計画上2020年度からの取り組みであっても、2019年度から準備を進めてもらいたい。

#### 【グループC】

(No. 5)

- ・評価は達成状況と同一。
- ・一見してごみのリデュースにかかる取り組みだとわかるような記述をしてほしい。
- ・目標③の生ごみ処理機の購入補助、目標100件については、稼働をごみの減量につなげることが本来目的なので、運用状況の把握を指標としてはどうか。

(No. 6)

- ・評価は達成状況と同一。
- ・目標は事業系ごみの減量だが、実施内容Do欄①②の実施結果ではリサイクル資源化のことを記述しているので、リサイクル量を把握し数値で報告を受けた方が評価しやすい。
- ・目標①の実施結果は、年度が終わらないと把握できないのは仕方ないが、穂高クリーンセンターでの事業系ごみの搬入量は把握可能だと思うので、昨年の数値とあわせ審議の材料として提供してもらいたい。

(No. 7)

- ・No. 5同様、リサイクルにかかる取り組みだとわかるような記述をお願いします。

(No. 9)

- ・案内、周知方法をご提案いただいた。

(No. 11)

- ・No. 10の省エネ設備の導入とあわせて、取り組みを進めていただきたい。

(No. 12)

- ・補助金の交付に関する記述が、効果検証に対する記述として相応しいか。

(No. 27)

- ・自転車の利用促進にかかる取り組みについても記述し、あわせて取り組みを進めてはどうか。

報告事項（3）その他

<環境課環境政策係から説明>

<質疑> 特になし

(午後4時12分 議事終了 閉 会)

**【今後の予定】**

- ・ 4月22日（月）午後2時から 平成31年度 第1回環境審議会